

思考力算数練習帳シリーズ

シリーズ19

四角わけパズル 初級

計算の範囲：九九（1けた×1けた）レベル

算数思考力練習帳シリーズについて

ある問題について、同じ種類・同じレベルの類題をくりかえし練習することによって、確かな定着が得られます。

本シリーズでは、中学入試につながる文章題やパズルについて、同じ種類・同じレベルの問題をくりかえし練習することができるように作成しました。

指導される方へ：本書の指導上の注意

- ① 本書を始めるにあたり、次ページに記載されたルールを理解する必要があります。しかし、パズルに慣れていないお子さんは自力でルールが理解できない場合があります。その場合は、指導される方が説明なさってください。
- ② 説明してもパズルのルールを理解できない場合や、2・3問練習した後でも自力でパズルが解けない場合は、使用をいったん中止して、3ヶ月から6ヶ月ぐらい休んでから、再度試してみましよう。お子さんの心身の発達や興味の伸張を待てば自力でできるようになります。
- ③ 「四角わけパズル」は初級・中級・上級の3部作になっています。この3つのレベルはおおよそ低学年・中学年・高学年に対応しています。しかし、それ以上にお子さんがパズルを解く思考にどれほど慣れているかが大きく影響します。お子さんが解き易く、かつ興味が持てそうなレベルからお始めください。
- ④ パズルを解く楽しみは自分で答えを発見することにあります。お子さんの達成感を満たすためにも、答は絶対教えないようにしてください。手助けをする場合でも、解き方のコツをヒントに出す程度にとどめてください。
- ⑤ このパズルでは、答えができればほとんどの場合は正解ですが、勘違いや計算ミスがないかチェックをしてあげてください。解答例とちがっている場合、計算をチェックしてどこが間違っているか確かめてください。間違った箇所だけを指摘するのがよいでしょう。
- ⑥ 解けない問題があるときは、その問題はとばして、次の問題に挑戦するようご指導ください。焦らせず、日を置いて何度も挑戦することが思考力を養成する秘訣でもあります。努力してできたときは、その努力や能力をタイミングよく評価してあげてください。

ほんしょ とくちょう
本書の特徴

- 1、パズルで思考力を鍛える。
- 2、九九の範囲だけで解けるので、九九を覚えたら挑戦することができる。
- 3、面積の感覚と約数の感覚を同時に鍛えられる。

しかく
四角わけパズルのルール

- 1、あたえられたマスすべて正方形または長方形に区切る。
- 2、数字をふくむ長方形のマスその数はその数字と同じになる。
- 3、区切った正方形または長方形には数字がひとつだけ入る。

かいとうれい
四角わけ解答例

ひだり
左のマス目を上の1～3のルールにしたがって右のように正方形または長方形に分けます。

				6	
		9	3		
4			8		
		12			7



				6	
		9	3		
4			8		
					7
		12			

解き方のこつ

- 1、大きな数から考える。上の例では、4をふくむ部分より12をふくむ部分がどうなるかを先にかんがえる。
- 2、たて×よこの組合せが少ない数から考える。例、36より35から考える。
36は4×9や6×6などがあるが、35は5×7しか考える必要がない。
- 3、一つに決まるまでは薄く線を引き、一つに決まれば濃い線にする。
- 4、同じ問題が2個あるので、1個は練習に使いましょう。
- 5、ひとつの問題で、考えても分からなければ次の問題をやってみる。

問題 1

2のたん
だけで
わかる

		4			
	6	4			
2					
8				12	

		4			
	6	4			
2					
8				12	

問題 2 5

	5					
						14
				20		
		10				

	5					
						14
				20		
		10				

問題 4 8

